

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2020年 10月 29日作成 第2版

研究課題名	心血管疾患における腸内細菌叢代謝物が全身に及ぼす影響と長期予後に関する研究
研究の対象	2006年7月1日から2024年3月31日までに横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センターに冠動脈疾患・心不全で入院した患者さんを対象とします。入院時20歳以上の方で、性別は問いません。
研究目的 ・方法	最近の研究により腸内細菌叢から産生されるTMAO (tri-methylamine N-oxide) は全身性炎症、動脈硬化進行、心血管イベント発症と関連していることが報告されています。そのため心血管疾患を発症した患者においてTMAOが長期予後に大きく影響する可能性があります。未だ不明です。心血管疾患における腸内細菌叢の役割を明らかにし新たな治療法に結びつけていくことを目的としています。心血管疾患で入院した患者さんの試料を用いTMAOを測定し、当院での治療情報を元に腸内細菌叢の役割を明らかにしていきます。
研究期間	西暦 2017年 8月 1日 ~ 西暦 2029年 7月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>本研究は通常診療において得られた既存の試料・情報を用います。</p> <p>情報：背景情報（年齢、性別等）、末梢血液検査、血小板凝集能検査、75gブドウ糖負荷試験、検尿、心臓カテーテル検査（血管内イメージング含む）、血管内皮機能検査、入院から3年・5年後の主要心血管イベントの有無。</p> <p>試料：入院時、10か月後に採取された血液サンプルの残りをを用いてTMAO血中濃度を解析します。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター（研究責任者）松澤泰志</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-9162</p>	